

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104209
法人名	株式会社 ケジャパン
事業所名	グループホームハッピー余戸 よしこハウス
所在地	松山市余戸東2丁目7番13号
自己評価作成日	平成21年7月24日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人一人の今ある力を活かし出来る限り自ら行う事ができるよう支援しています。又、それぞれのしたい事を応援し、ボランティア、地域の方々の協力を得ています。地域の行事等に参加し、地域の人達と触れ合う事で今後もこの町で暮らしているという実感がわくよう取組んで行きたいと思えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

地域の民生委員、老人会、町内会の方や、市社協、地域包括支援センターの方、ご家族、職員が参加して運営推進会議を開催されており、近況報告や意見交換、かかりつけ医による認知症や老人性鬱についての講演等も行われている。市社協の方が「靴の中に事業所の電話番号を書いておくといいよ」と教えてくださったり、そのアイデアをもとに他のアイデアにも広がり、利用者のさらなる安全への取り組みにつながっている。
利用者個々から得た情報をアセスメント表に集め、好き嫌いも含めて、日々の生活支援に採り入れておられる。聴覚障害者の利用者の為に、週3回手話通訳の方に来ていただいたり、管理者の方も手話の勉強に1年間通われ、日常会話を習得してご本人の思いの把握に努力されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名	株式会社 ケアジャパン
(ユニット名)	グループホームハッピー余戸 よしこハウス
記入者(管理者)	
氏名	森 律子
評価完了日	21 年 7月 24日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			「この町で暮らし地域の一人として生活していく事を支援します」の理念の元管理者と職員で共有すると共に、地域の行事にも参加し、又ボランティアの訪問も頂いております。	
			(外部評価)	
		事業所の理念に基づき、「地域に馴染めるホームを目指します」「この町で暮らし地域の一人として生活していくことを支援します」とユニット毎に理念を掲げ、利用者が近所の人達とつながりが持てるよう取り組まれている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			小学生やボランティアの方々の訪問を頂き共に楽しく一日を過ごしたり、地域の運動会・祭りなどに参加し交流しています。	
			(外部評価)	
		事業所は「まもるくんの家」に協力されている。昨年度、小学校の授業の一環で小学生の訪問があり、今年度は、交流の仕方について事前に計画して来てくれるようになっている。市民大清掃には、職員が必ず参加され、よくお散歩に行く近所の公園の掃除をされた。毎年、近所のお宅の庭の桜見物に寄せてもらっている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議等で地域の方々に参加して頂き認知症の人の理解や支援について話し合いを持っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2 ヶ月に 1 回運営推進会議を行い、市・地域包括、民 生委員、老人会、家族等の参加にて意見交換を行っ ている。 遠距離の家族が多いためなかなか参加して頂く事が難 しい。</p>	<p>管理者は、「事業所資源を地域へ還元したい」と考え ておられる。かかりつけ医の講演等、会議で取り組ん でおられることについて地域の方達にも案内する等、 地域の認知症ケアの向上に向けて、取り組みをすすめ ていかれてはどうだろうか。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>地域の民生委員、老人会、町内会の方や、市社協、地 域包括支援センターの方、ご家族、職員が参加して会 議を開催されており、近況報告や意見交換、かかりつ け医による認知症や老人性鬱について講演等も行われ ている。市社協の方が「靴の中に事業所の電話番号を 書いておくといいよ」と教えてくださったり、そのア イデアをもとに他のアイデアにも広がり、利用者のさ らなる安全への取り組みにつながっている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議や市の連絡会等において、事業所の実情 や ケアサービスの取組みを伝えています。</p>	<p>運営推進会議時、市の担当者の方が、「介護保険法の 改正について」や「おれおれ詐欺」の注意事項等につ いて、出席者に説明して下さった。</p>
			<p>(外部評価)</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束については職員が正しく理解しており、玄関 の施錠等拘束をしないケアに取り組んでいる。又ベッド の柵については安全面で止むおえず、4 柵する際は家 族に説明し許可を得ている。</p>	<p>玄関の施錠はしておらず、庭で過ごすのがお好きな利 用者には、職員が見守っておられる。「転倒して骨折 するのは避けたい」というご家族の要望で、ご本人が 寝ている時のみ、ベッド柵をされており、ベッドサイ ドには、マットセンサーを付けておられた。</p>
			<p>(外部評価)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング等で高齢者虐待防止法等について話合う機会を持ち、虐待の防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 入居者の中で成年後見制度を活用している方がいます。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約に関する説明は入居時家族、利用者等に説明し理解・納得し計契約にサインをして頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置しいつでも気軽に意見を出せるようにしていますが、充分活用されていません。利用者・家族等の意見、要望は機会をとらえ聞くようにしています。 (外部評価) 年2回、家族会を開催し、利用者ご家族、職員でカラオケや食事を楽しみ親睦を図っておられ、家族同士の交流の機会にもなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 「何でも言いま書」の利用者や本社のミーティング等において意見や要望を伝えています。 「なんでも言いま書」とは、社内の提案制度の書類の名前です。 (外部評価) 「何でも言いま書」の仕組みで職員から母体法人に、直接要望や意見が伝わるようになってきている。普段から管理者と職員は、コミュニケーションを大切にされており、気軽に意見を出し合っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 勤務として研修に参加出来る様にし、個々のスキルアップを図るように一年に少なくとも一回は、希望する研修を受けるようにしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時に家族や本人の要望等をよく聞くとともに入居してからも困ったこと、不安なことを聞くようになっています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前、見学等して頂いたりする際に、ご家族さんから困っていること、不安なこと、求めていること等を聴き受け止めるようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サービスの利用を開始する際に本人・ご家族さんがどのように支援して欲しいかを聞き、サービス計画の中に取り入れている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一方通行にならないよう家族参加への声かけをし、共に活動している。又、ご本人の得意なことは教わるなどしている。 日々の生活の中で入居者さん同士助け合っている姿も見られる。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>手紙やメール、電話等でご家族さんと連絡を取りながら ご家族の思いを受け止め本人とご家族さんの絆を大切に 共に支える関係が出来るように努力している。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>知人や友人など今まで培ってきた人間関係を継続出来るよう支援している。馴染みの方が気楽に立寄り、話が出来よう支援している。又、ご家族の協力を得て馴染みの場所へも 行くことが出来るようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者の友人が訪ねて来てくれ、一緒におやつや食事を楽しまれたり、ご自宅の隣人の方と電話でお話することで「生活に張り合いが出た」利用者もおられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し場面場面で職員が入る事により、良い関係が作れるよう、孤立しないよう支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人一人の思いや暮らし方の希望・意向については良く聞くようにしている。困難な場所は本人の視点にたって職員間で話合って取組んでいくように、一人一人の言葉を個人記録に記入し、言葉の中から今現在の希望、意向について考え取組んでいる。 (外部評価) 利用者個々から得た情報をアセスメント表に集め、好き嫌い等も含めて、日々の生活支援に採り入れておられる。聴覚障害者の利用者の為に、週3回手話通訳の方に来ていただいたり、管理者の方も手話の勉強に1年間通われ、日常会話を習得してご本人の思いの把握に努力されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時にご家族さんから聞いたりご本人との会話の中で理解し把握するようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その日の健康状態、活動の様子等を見て出来る事、出来ない事を把握し職員間で情報交換し支援するよう心掛けている。 一日の動線を多く作るよう工夫している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護計画については、本人・ご家族さん・職員等どのようにするのが最適か意見交換を行うようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々のアセスメント表に基づき、職員の気付きやご家族からの要望等を取り入れて、介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子等個人記録に記入し、変化やケアの方法等については申し送りのノートやミーティング等で、職員間で情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>グループホームに入居している方のその時の状況、ご家族さんの意向により手話通訳、マッサージ等を利用している。 又、入浴もデイサービスの特浴を利用し、ご利用者様に満足していただける様支援している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>囲碁のボランティア、手話をお願いしたり、消防訓練の実施運営推進会議での民生委員・町内会長・老人会長の参加協力をお願いしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>週二回の往診して頂く他に家族の方の希望で他の病院 への 通院もして頂いています。又、症状により病院に通院 する様にしています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>協力医療機関やこれまでのかかりつけ医の往診があ る。ご家族と他の病院に通院している方には、日常の 様子を説明する為に職員が付き添うこともある。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>デイサービスの看護職員や訪問看護師に個々の利用者 の変化などを伝えてアドバイスを受け受診したり、往 診の際に医師に伝えて指示を得ている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入院した際は病院関係者と情報交換している。又退院 の際には、家族・病院側と相談し情報を得ている</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院した際は病院関係者と情報交換している。又退院 の際には、家族・病院側と相談し情報を得ている</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方については、ご家族 さん等に医師と共に文書にて説明し方針を共有し支援 していくようにしています。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方については、ご家族 さん等に医師と共に文書にて説明し方針を共有し支援 していくようにしています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>医療機関から看取りに関するパンフレットをいた だき、ミーティング時等に職員に周知されている。事業 所では、看取りを経験されて、医療機関やご家族との 連携の大切さを感じておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			急変や事故発生時の初期対応については、ミーティング等で周知徹底している。避難訓練の際、初期対応・応急手当の講習を受けました。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			年二回の避難訓練を行い、緊急連絡網も作成している。又、避難訓練の際は地域の方の参加もして頂いている。	
			(外部評価)	
			避難訓練時、地域の防災士の方から、連絡先を教えてください、いざという時協力いただけることとなった。又、消防署の方から2階の車椅子を利用している利用者の避難方法を教えていただいた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			排泄、更衣、居室への入退出の際の配慮、声掛けのタイミング、場所等充分配慮するよう心掛けています。	
			(外部評価)	
			管理者は、利用者への対応について、気を付けることを職員に話しておられる。トイレ誘導や服薬支援時等、時に「早く」と利用者になってしまうような場面もある。	事業所では、「利用者への対応や言葉かけ等、慣れ合いにならないように気を付け、さらに質の高いケアが提供できる事業所を目指していきたい」と話しておられた。定期的に職員同士で点検し合ったり、話し合うような機会を設け、職員個々のスキルを高めていかれてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			本人が納得し、決めることが出来るような問いかけをし、職員本位にならないよう心掛けています。一つ一つの声掛けにも自己決定出来る様にし、それぞれの分かる力にあわせ納得が行くまで説明を行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日々の暮らしの中で、今何に興味を持っているか一人一人の声・言葉に耳を傾け何がしたいか希望に添えるように支援していますが、その日職員の状況においては希望に添えない日もある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 起床時更衣の際好きな服を選んでもらっています。又、季節に合わない服を着ていたり、毎回同じ服を着ていたりする際は声掛けして一緒に選ぶようにし、又理容は行き慣れた所に連絡し、又美容も希望によりホームに来て頂いています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたい物を聞きながらメニューを決めたり、食材を切って頂いたりしています。又、食事の準備や片付けはして頂いています。	
			(外部評価) 事業所の昼食は、現在、週に3日、業者から届くようになっていて。利用者はランチョンマットや箸、湯呑みを並べられたり片付けをされている。食事制限のある方には、主食を減らしておられるが、会話をしながら、ゆっくりしっかり噛むことで満腹感を味わえるよう、声をかけ支援されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) チェック表にて一人一人の状態を把握しています。水分が充分取れない方は、ゼリー状にし摂取してもらっています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後うがいや義歯洗浄を行うよう声掛けしています。就寝前には義歯を洗いコップに浸けて頂くよう声掛けしています。歯科衛生上の指導も受けています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)		
			排泄のチェック表をもとに時間を見て声掛けしています。		
			(外部評価)		
			日中はなるべくトイレで排泄できるよう、それぞれの排泄パターンに合わせて声をかけ、誘導されている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)		
			排泄チェック表、水分チェック表等において一人一人把握しています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)		
			毎日入浴の希望を聞くようにしています。入浴を好まない方に対しては、タイミングをはかり声掛けをするようにしています。		
			(外部評価)		
			介護度が上がり、浴槽で温まることがむづかしくなった方は、デイサービスの特殊浴槽を利用されている。シャワー時に回転式のシャワーチェアを使用することで、利用者も体への負担が軽減されている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)		
			睡眠のパターンで二日起き二日眠るという方や、朝方まで覚醒している方に対してはその方の状況に応じて対応するようにしています。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 毎日の薬は職員が管理し服用したかどうか確認しチェックしています。服用拒否の方には幼児用のゼリー状オブラートを服用してもらっています。症状の変化については医師に連絡相談し指示を受けています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 日々生活する中で居室の掃除、洗濯物を干す・たたむ、食器の片付け、食材の下ごしらえ等の家事活動、折り紙等の趣味活動、風船バレー等取入れています。が、時間的に長く集中して行う事は難しいようです。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は公園まで散歩に出かけ、ご家族さんと食事や温泉に外出が出来るよう支援しています。又、聴覚障害者の方のサークル活動への参加等の支援をしています。	
			(外部評価) 近くのスーパーへの買物や近所の公園までの散歩等、ほぼ毎日外出されている、外に出ることが億劫と言われる方には、踊りや歌等、興味のあるイベント等にお誘いしたり、買い物帰りに少しドライブされることもある。月1,2回は、デイサービスの大型車を使用して飛行場や観光港に行かれたり、季節毎に果物狩りや花見等には、利用者全員で出かけておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 一人一人の希望や力に応じてお金を所持したり使えるよう支援していますが、お金を所持する際どこに置いたかが分からなくなる事があるので気をつけて見守りをしています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望する時に電話を自由にかけるようにしています。手紙のやり取り等も自由に出来る様に支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビング等に季節を感じられるよう工夫をしています。又、テープで鳥の鳴き声や川の流れる音を時折流しこころ良い空間を作るようにしています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関や居間には季節の花や植物の蔓のリースが飾られ、職員と利用者と一緒に作った色紙の葡萄の実が壁面に飾られて、もうすぐ全員で出かける葡萄狩りの話題のきっかけとなっていた。外出やイベント時等の思い出の写真も飾られていた。ソファや畳スペース等、それぞれの場所でくつろぐ利用者の様子がうかがえた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>テーブルで話をしたりソファに座り入居者同士が話をし、くつろげるように配慮しています。又、居室に入り独りで過ごしたり休息したり出来る様にしています。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居の際に今まで使用していたものを持ってきて頂くよう話をし、又持ってきて頂いています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>部屋の入口には、表札と共に、利用者それぞれに違う布製の飾りが飾られている。居室には、椅子やダンス、仏壇等を持ち込んでおられる方もある。ご家族から送られてきた写真や絵手紙を飾っている方や、歩行困難な方のお部屋は畳を置き、転倒予防やご本人自身の移動がし易いように配慮されていた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>車椅子の方も自走出来るようなるべく障害物の無いよう配慮しています。又、居室、トイレ、浴室等場所が分からなくなり混乱しないよう工夫しています。</p>	